●事業実施状況

（注）表の見方

次ページから４８ページまでの表については、以下の点を参考にしてください。

- 区分欄は、継続事業、拡充事業、新規事業の区分を表示しています。①

  継続－現在行われている取り組みの内容を充実し、継続するものを表しています。

  拡充－現在行われている取り組みの機会を広げるものを表しています。

  新規－平成 19 年度より新規に取り組むものを表しています。
- 状況欄には実施、一部実施、未実施について　○　△　□　で表しています。②

  ○　・・・実施　　△　・・・一部実施　　□・・・　未実施
- 「指標」とはそれぞれの取り組みの成果を知る目安となるものです。（試行的に設定したもので、今後変更になることがあります。）例えば行事の実施回数や参加人数などがあげられます。③
- 「実績」とは指標に該当する回数や人数をさしています。④
- 「実施状況と課題」にはそれぞれの取り組みの実施状況や課題について、担当部局や団体が執筆しています。また未実施の場合は実施できなかった理由を課題としてあげている箇所もあります。⑤
- 取り組みの番号の背景がグレーになっているものは実施計画に掲載された事業内容の記述に変更のあったものです。（下線が変更部分）⑥
- 取り組みの下に利用者の声などを記述した項目もあります。⑦
- 実施主体である関係部局・団体欄の名称の前の○印は、その事業について、主に中心となって取り組むところを表しています。⑧

（表示例）

76	情報交流と研修 ⑥	図書館や保育所（園）、幼稚園で行う研修の情報を<u>他の施設と</u>共有し、研修の機会を広げる。〔123、163をご参照ください。〕	拡充 ①	○ ②			幼稚園教育研究会を通じて、情報交換や研修を行っている。(市立幼稚園) 情報交換を組織的に行う仕組み作りが課題となっている。 保育所（園）13ヵ所（園）、幼稚園 4 園で実施。	○保育所（園）⑧ 幼稚園 市立図書館
77	絵本検討会	絵本検討会で人権の視点からリストを作成し、絵本の選書を行う。	拡充	○	実施回数 ③	5 回 ④	各保育所にアンケートを実施して、配本したい本（240冊）を集計した。それを絵本検討会で内容によって5つの領域に分けて検討した。検討後、本の紹介とともにリストを作成した。⑤	市立保育所
78	豊中市幼稚園教育研究会	市立幼稚園教員の研究会の中で、絵本についての研究･実践交流を行う。	継続	○	実施回数	9 回	保育教材の製作や講師を招いての絵本研究等を実施している。実践の検証が課題である。	幼児教育課
	「新刊の絵本についても情報交換ができ、保育に活用できる」 ⑦							